≡ OPTICON



OPH-5000i

無線 LAN 内蔵 2 次元ハンディターミナル

標準アプリケーションバッチモード

通信環境設定手順書

EOPTICON

株式会社オプトエレクトロニクス

Copyright (C) 2017 OPTOELECTRONICS CO., LTD. All rights reserved.

第3版 2020年5月発行

標準アプリケーションバッチモード通信環境設定手順書

OPH-5000i

はじめに

このたびは、本製品をご購入いただき誠にありがとうございます。

本書は、無線 LAN 内臓 2 次元ハンディターミナルの取り扱い方法ついて説明するものです。ご使用前によくお 読みになり、正しく安全にお使いください。

ご注意

- ・本書の内容は、製品の仕様変更などにより予告無く変更される場合があります。
- ・本書の内容については万全を期して作成しておりますが、万一誤記や記載漏れがあった場合でも、それに起因 するお客様の直接、間接の損害、不利益につきましては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 また、内容に納入仕様書との差異がある場合は、納入仕様書の内容を適用します。
- ・本書を印刷する場合は A4 用紙をご指定ください。

版権について

 ・本書の内容はすべて著作権に保護されています。本書の一部または全部を事前の承諾無く、無断で複写、複製、 翻訳、変更することは禁じられています。

Copyright (C) 2017 OPTOELECTRONICS CO., LTD. All rights reserved.

商標・登録商標について

・本書に記載されている会社名、商品名などは、それぞれ各社の登録商標および商標です。

運用に関しては、事前に実機によるテストを十分行ってください。

目次

はじめに ii
1 OPH-5000i 通信環境作成1
2 セットアップ
2.1 PC 側
2.1.1 OseComm32 のインストール方法2
2.1.2 OseComm32の日本語表示方法7
2.1.3 Bluetooth を使用する場合の設定方法9
2.1.4 OseComm32 通信開始方法13
2.2 OPH-5000i 側セットアップ15
2.2.1 OPH-5000iの起動アプリケーション15
3 通信事前準備
3.1 PC 側事前準備17
3.1.1 シリアル通信による設定17
3.2 OPH-5000i 側事前準備
3.2.1 OPH-5000i 側通信事前準備18
4 通信実施
4.1 業務実施
4.1.1 入荷業務方法
4.1.2 OseComm 通信23
5 サンプルバーコード25
改版履歴

1 OPH-5000i 通信環境作成

通信環境は OPH-5000i で収集したデータを Bluetooth にて PC 側へ送信するための環境を構築する 事を目的としています。



OPH-5000i 標準アプリケーション バッチモード PC 必要環境 Windows7 以上 Bluetooth SPP 通信可能 OseComm32 インストール済

2 セットアップ

PC・OPH-5000iのセットアップ方法を説明します。

2.1 PC 側

2.1.1 OseComm32 のインストール方法

① 圧縮ファイル(SetupOseComm32.zip)を解凍してください。

🔜 SetupOseComm32.exe	2016/02/17 14:08	アプリケーション	1,198 KB
----------------------	------------------	----------	----------

- ② 解凍した EXE ファイル(SetupOseComm32.exe)を実行してください。
- ③ インストーラが起動しますので「Next>」をクリックしてください。

TP > 1	Welcome to the OseComm32 1.0.12.0 Setup
E yyman	Setup will guide you through the installation of OseComm32 1.0.12.0.
	It is recommended that you close all other applications before starting Setup. This will make it possible to update relevant system files without having to reboot your computer. Click Next to continue.

④ ライセンスや注意事項が表示されます承諾する場合、「I Agree」をクリックしてください。



⑤ 「All users」をチェックしてから「Next>」をクリックしてください。

	License Agreement Please review the license te 1.0.12.0.	rms before installing OseComm32
Instal OseComm32 fo		
O Current user o	nbé	
 All users 		
on Install System		
the second se		

⑥ インストールコンポーネント選択が表示されます「Next>」をクリックしてください。

※不要な言語のチェックを外すと PC のディスク容量を節約できます。

	Choose Components Choose which features of OseCom install.	m32 1.0. 12.0 you want to
Check the components you install. Click Next to continu	want to install and uncheck the comp e.	oonents you don't want to
Select components to instal	I:	Description Position your mouse over a component to see its description.
Space required: 2.4MB	C Deutsch Dansk T	
icon Install System		

⑦ 言語選択が表示されます「Japanese」を選択して「Next>」をクリックしてください。
 1.0.11.0以前のバージョンをお使いの方は「English」を選択して「Next>」をクリックしてください。

※1.0.11.0以前のバージョンをお使いの方はインストール終了後、「2.1.2の

OseComm32日本語表示化方法」の作業が必要です。

1000	Cho	oose Compor	nents			
	Ch	ioose which fe itall.	atures of Ose	Comm32 1.0.1	2.0 you w	ant to
Set the defa	ult startup lang	guage.				
Set the defa	ult startup lang	guage.				
Set the defa	ult startup lang	guage.				
Set the defa	ult startup lang	guage.				
Set the defa	ult startup lang	guage.				
Set the defa	nult startup lang	guage.				

⑧ インストール場所を指定して「Next>」をクリックしてください。

100	Choose Install Location	
	Choose the folder in which to install Ose	Comm32 1.0. 12.0.
Setup will install (click Browse and	OseComm32 1.0. 12.0 in the following folder. To insta select another folder. Click Next to continue.	ll in a different folder,
Destruction Fal	14	
Destination Fol	ider	Browce
Destination Fol	lder Files (x86)¥Opticon¥OseComm32	Browse
Destination Fol	ider Files (x86)¥Opticon¥OseComm32	Browse
Destination Fol	Ider Files (x86)¥Opticon¥OseComm32 2.4M8 39.6G8	Browse
Destination Fol	lder Files (x86) VOpticon VOse Comm32 2.4MB 39.6GB	Browse

⑨ スタートメニューフォルダ選択が表示されます「Install」をクリックしてください。

	Choose Start M	lenu Folder		
	Choose a Start M shortcuts.	Menu folder for th	ne OseComm32 1	.0.12.0
Select the Start Menu fold	der in which you wou create a new folder.	ld like to create t	ne program's sho	rtcuts. You
Opticon¥OseComm32				
7-Zip				
Accessories ActivePerl 5, 22, 1 Build 2	201 (64-bit)			
Administrative Tools	201 (0101)			
Android Studio Apoload				
Atmel				
Atmel Studio 7.0 Cyberl ink Media Suite				
Cygwin				
Dell ESET				-
teres Tereball Stratege				100
icon macan system		100-000		0

⑩ ショートカットをデスクトップに作成する場合、「はい」をクリックしてください。



⑪ インストールが完了しました「Finish」をクリックすると OseComm32 が起動します。

E OseComm32 1.0.12.0 Set	cup	
	Completing the OseComr Setup OseComm32 1.0.12.0 has been installer Click Finish to dose Setup.	n32 1.0.12.0 d on your computer.
	< gadk Einis	h Cancel

2.1.2 OseComm32 の日本語表示方法

1.0.11.0 以前のバージョンをお使いの方は OseComm32 インストール時に日本語表示に対応していません。

下記手順を行う事で OseComm32 の日本語表示が可能になります。

OseComm32の日本語フォントファイルを解凍します。
 上記日本語フォント圧縮ファイル(OseCommLanguage_JP.zip)を解凍すると以下のファイルが作成されます
 OseCommLanguage_JP.dll

- 解凍したフォントファイルを OseComm32 の Language フォルダにコピーします。
 例)「C:¥Program Files(x86)¥Opticon¥OseComm32¥Language」
 ※環境によってフォルダが変わることがありますのでご注意ください
- ③ 表示言語を日本語に変更します「Language」をクリックしてください。



 ④ 言語選択ダイアログが表示されます「Language(s)」より「日本語」を選択して「OK」を クリックしてください。

Current language	ОК
English	Cancel
Language(s)	
English	~
中國傳統	
Deutsch	E
Dansk Egopőol	
Espanoi	
Italiano	
日本語	-
1.70	
Translator information	
OPTOELECTRONICS CO., LTD.	~
12-17, I sukagosni 4-chome	
335-0002 Japan	
555 6662 Sapan	
Email: tecinfo@opto.co.jp	
Web: www.opto.co.jp	

⑤ 日本語表示に変更されます。

🛅 OseComm32 - Untitled	- • ×
ファイル オプション 言語 ヘルプ	
PTEN	
	×
	-
<	Þ
ヘルプについては F1キーを押してください	

2.1.3 Bluetooth を使用する場合の設定方法

2.1.3.1 概要

この章では OPH-5000i と OseComm32 を使用してデータ転送を行うまでの設定方法について説明しています。

Bluetooth の着信ポートの作成や設定は Windows®に標準搭載されている Bluetooth ドライバのご使用を前 提にしていますので、サードパーティ製のドライバをお使いの場合にはそちらのドキュメントを参照して下さい。



「OseComm32の通信設定を行います。

メニューツールバーから「オプション」をクリックしてください。

📅 OseComm32 - Untitled	- • •
ファイル (オプション) 言語 ヘルプ	
 アイドル 	
	-
4	+
ハーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	

② ドロップダウンより「通信設定」をクリックしてください。

🛅 OseComm32 - Untitled	
ファイル オプション 言語 ヘルプ	
アイドル プロトコル開始	
プロトコル停止	
初期設定	
通信設定	
	×
	·

③ 通信オプション画面でシリアルポートを確認して Bluetooth 受信ポートを指定してください。



④ プロトコルタスク設定を行います「プロトコルタスク」をクリックしてください。

通信オブション		х
一名通信投索	19 プロトコルタスク	
	OSパージョン取得 タスク編集	
	今天少主部国际	
	OK キャンセル ヘルナ	

⑤ バッチモード通信用設定を行います「ファイル受信」をクリックしてください。

通信オプション		×
通信オジョン 今, 通信設定 13 プロトコルタスク	プロトコルタスク ³² プロトコルタスク	
	カスクガループ クスク編集 OSパープラン教授 クスク編集 クスパープラン教授 クスク編集 アリカージョンパープラン教授 クスク全者 野 ウオパシジェパープラン教授 タスク全者 野 ウオパシジェパープラン教授 クスク全者 野 ウオパシジェ ウスク会者 野 ウオパキャンセル ヘルプ アナパル静像 CK	

⑥ ファイル受信を行うタスクを追加したいので「タスク追加」をクリックしてください。

通信オプション	
連信オプション ⁹ 、連信設定 10 プロトコルタスク	
	ОК 4 +2U/ Л/7

⑦ ファイル受信タスクの詳細設定を行います。設定完了したら「OK」をクリックしてください。

受信ファイルダイアログ	
端末 ドライブ デフォルトドライブ ファイル名: DAT*.CSV	☑ 利用できない時に継続する
PC ダウンロードフォルダ: C:¥Users¥ttakahashi0415¥Document ダウンロードタイプ ③ 追加ファイル ③ 上書きファイル ④ 新しいファイル	s アドバンスドファイル名 「端末ファイル名 「端末ID 同時間 hhmmss ●日付 DDMMYYYY マ ファイル名 ID 時間日付 マ
	OK キャンセル

【各項目の設定値】

ファイル名:DAT*.CSV と設定します。 「利用できない時に継続する」にチェックをします。 ダウンロードフォルダ :任意の保存場所を指定してください。 ダウンロードタイプ :追加ファイル、または上書きファイルを選択してください。 アドバンスドファイル名 :ファイル名を変更したい場合は任意に設定してください。

⑧ 設定したタスクがタスクリストに表示されます「OK」をクリックしてください。

通信オプション	— ×
 予, 運催設定 で、 で、 で、 で、 で、 ごロトコルタスク 	
	7

2.1.4 OseComm32 通信開始方法

OseComm32 を通信可能状態にします。

① OseComm32 を起動してメニューツールバーから「オプション」をクリックしてください。

ファイル (イブション) 言語 ヘルプ の アイドル	_
₽ 74 Кл.	
	-
	-
4 +	
ヘルプについてはF1キーを押してください	

② ドロップダウンより「プロトコル開始」をクリックしてください。

🛅 OseComm	132 - Untitled		×
ファイル オ	プション 言語 ヘルプ	-	-
🔘 アイドル	プロトコル開始		
	プロトコル停止		~
	初期設定		
	通信設定]	
*		*	-
1			

③ ポーリングが開始され暫く経つと「フレームデータを送信することができません」とメッセ

ージが表示されます。

😇 OseComm32 - Untitled	
ファイル オプション 言語 ヘルプ	
● ポーリング	
[2016-10-18,18:15:19] フレームデータを送信することができません	A
	-
	4
ヘルプについては F1キーを押してください	

④ OPH-5000iからデータを送信すると以下の様なメッセージと共にファイルを受信します。

💆 OseComm32 - Untitled	- • ×
ファイル オプション 言語 ヘルプ	
● ポーリング	
[[2016-10-18,18:17:00] フレームデータを迷信することができません [2016-10-18,18:16:55] 通信セッシュ) 完了 [2016-10-18,18:16:55] 愛信ファイル DAT1.CSV を C:¥Users¥ttakahashi0415¥Documents¥DAT1.1 [2016-10-18,18:16:54] 端末からファイル DAT1.CSV を受信します	へ csv. として端末に
[2016-10-13,18:16:5月 OseComm プロトコルパージョン1.01 [2016-10-18,18:16:5月 村務(水 センシュン、グ 端末D: 13/18:039 [2016-10-18,18:15:19] フレームデータを送信することができません	
	-
	•
ヘルプについてはF1キーを押してください	

2.2 **OPH-5000i 側セットアップ**

2.2.1 OPH-5000iの起動アプリケーション

起動時のアプリケーションを設定します。

① OPH-5000iの初期状態は標準アプリが起動します。



ピッという音がなり左の画面が表示された場合 標準アプリが起動しております。 もし標準アプリが起動しない場合はシステムメニューを 起動して標準アプリが起動する様に設定を変更してくだ さい。

② システムメニューを起動します。



アプリケーションの画面で[Q1]キーと[Q2]キーを同時に2秒以上押し続けると、システムメニューが表示されます。

③ システムメニューの「1 アプリ切替 → 標準アプリ」を選択します。



標準アプリを選択します。 「ENT]キー: 選択が変更されているときは変更を適用し、システムメニューに戻ります。 「CLEAR]キー: 変更を破棄し、システムメニューに戻ります。 ④ [ENT]キーを確定するとアプリをロード中になります。



⑤ アプリをロードした後システムメニューに戻り、「*再起動」を選択し再起動をします。



[Q1]キー、[Q2]キーでカーソルを移動させ「*再起動」に
 きたら[SCAN]キーまたは[ENT]キーで決定します。
 (テンキーの[*]を押下しても再起動が選択されます。)

⑥ OPH-5000i が再起動され標準アプリケーションが起動します。



3 通信事前準備

PC・OPH-5000iの通信前に事前準備手順を説明します。

3.1 PC 側事前準備

3.1.1 シリアル通信による設定

OseComm32の起動を行います。
 OseComm32をプロトコル開始してポーリング状態にしてください。
 「2.1.4 OseComm32 通信開始方法」を参照してください。

データコレクタで使用している Bluetooth ドングルは BluetoothHID 専用となります。 BluetoothSPP 通信が可能な Bluetooth ドングルを使用してください。

3.2 OPH-5000i 側事前準備

3.2.1 OPH-5000i 側通信事前準備

- ① PC 側とのペアリングを行います。
- ② OPH-5000iの電源を投入します。



ピッという音が鳴り左の画面が表示されたら [F1]キーを押下して端末設定メニューを起動して ください。

③ 端末設定メニューを起動します。



- [Q1]キー[Q2]キー押下でカーソルを移動させ 「Bluetooth 設定」を選択してください。
- ④ Bluetooth 設定を選択します。



「Bluetooth 設定」にカーソルがきたら [ENT]キーを押してください。 ⑤ BD アドレスの設定を行います。



[Q1]キー[Q2]キー押下でカーソルを移動させ 「アドレス」にきたら[ENT]キーを押下して ください。

⑥ BD アドレスの設定を行います。



[スキャン]キーで BD アドレスのバーコードを読取り 設定を行います。 入力完了しましたら[ENT]キーを押して端末設定メニュー に戻ります。

⑦ 通信の確認を行います。

「入荷業務方法」を参照してデータの入力した後 「Bluetooth 通信」を参照して通信を行ってください。 画面に送信中と表示されてペアリングが開始します。 ⑧ 通信を開始すると PC 側からデバイス接続の確認を要求してきます。

吹出しをクリックしてください。



⑨ デバイスの追加ダイアログが表示されます「次へ」をクリックしてください。



⑩ デバイスの追加が完了しました「閉じる」をクリックして終了してください。



4 通信実施

OPH-5000iの入荷業務を参考にデータ通信手順を説明します。

4.1 業務実施

4.1.1 入荷業務方法

① OPH-5000iの電源を投入し入荷業務を選択します。



[Q1]キーまたは[Q2]キーでカーソルを移動させます。 「入荷業務」にカーソルがきたら[ENT]キーで業務に移行 します。 (テンキーから[1]キー押下しても移行します)

② 商品コードを入力します



[SCAN]キーにてバーコードを読取ります。 読み取り後自動的に数量入力に移行します。 ③ 数量を入力します。



[テンキー]にて数量を入力します。 数量入力後[ENT]キーで確定します。

④ 入力データが登録され件数がカウントアップされます。



右上の件数がカウントアップして商品コード入力に移行 します。 あとは②~③を繰返すとデータを登録していきます。

終了する場合は[CLEAR]キーを押してください。

4.1.2 OseComm 通信

① OPH-5000iのメインメニューから「7:OseComm 通信」を選択します。



[Q1]キーまたは[Q2]キーでカーソルを移動させます。 「7:OseComm 通信」にカーソルがきたら[ENT]キーで業務に 移行します。 (テンキーから[7]キー押下しても移行します。)

② OseComm 通信の確認が行われるので開始します。



[Q1]キーにて OseComm 通信を開始します。 [Q2]キーにて②に戻ります。

③ OseComm 通信が開始されます。



Bluetooth で OseComm 接続を開始します。

④ OseComm 通信中の画面が表示されます。



OPH-5000i

標準アプリケーションバッチモード通信環境設定手順書

⑤ OseComm 通信中の進捗状況画面が表示されます。

OseComm <u>)</u> 甬信	
OseComm	
DAT4.CSV 000%	OseComm 通信を行っています。
CLR:中断	[CLEAK]十一に C中間の可能 C 9。
04/07 13:58 8 e 	

⑥ OseComm 通信が正常終了したら完了です。

OseComm <u>)甬</u> 信
OseComm
通信しました。
Q1: 確認
05/21 10:54 👌 🗖

[Q1]キーを押すとメインメニューに戻ります。

Chapter-5 サンプルバーコード

5 サンプルバーコード





ハンドヘルド CCD タッチ式スキャナ





ハンドヘルド CCD スキャナ





ハンズフリー オムニディレクショナル イメージャスキャナ M-10 AS99003



Bluetooth 搭載 超コンパクトサイズ データコレクタ OPN-4000



Bluetooth 搭載 超コンパクトサイズ データコレクタ OPN-3002

改版履歴

Doc ID: TS17009

製品名: OPH-5000i

版数	日付	変更箇所	変更内容
初版	2017/02/09	-	(初版発行)
第2版	2017/12/05	2.2.1	OPN モードの削除
		2.1.3.1	概要の追加
第3版	2020/05/28	2.2.1	OPH-5000iの起動アプリケーションの修正
		4.1.2	OseComm通信の追加



Copyright (C) 2017 OPTOELECTRONICS CO., LTD. All rights reserved.

株式会社オプトエレクトロニクス

埼玉県蕨市塚越 4-12-17

http://www.opto.co.jp/

〒335-0002

048-446-1183

048-446-1184 sales@opto.co.jp

本社

TEL

FAX

E-mail URL

第3版 2020年5月発行

OPH-5000i

標準アプリケーションバッチモード通信環境設定手順書